
rain ~ 雨の日に ~

orange

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

rain〜雨の日に〜

【コード】

N1037B

【作者名】

orange

【あらすじ】

ある雨の日の女の子二人の会話。

(前書き)

息抜きに書いてみました。

この小説から、何か感じる物があったら、嬉しいです。

「雨って嫌いだなあ」

そう私が呟くと、彼女はそうかなあ、と言った。

「あたしは雨、好きだけどな」

どしゃぶりの雨の日。教室での会話である。

私は彼女に質問した。

「ねえ、どうして雨が好きなの
すると彼女は、

「雨って汚いものを洗い流してくれるような気がするんだ。だって、
道路の泥とか洗い流してくれるでしょ」

と言った。

「じゃあさ、あなたは どうして雨が嫌いな の」

逆に、彼女から私への質問。

「だって、泥が跳ねるし、ビチャビチャになるじゃん」

それだけなの、と彼女は首を傾げた。

こくと私が頷くと、彼女はそうなんだ、と黙り込んでしまった。

きっかり一分後、彼女が口を開いた。

「それがいいんじゃないのかな」

何のことが分からなかった私は、

「え、何のこと」
と聞き返す。

「あ、ごめん。さっきの雨の話のこと。ビチャビチャになったり、
泥跳ねが付いたりするのが『雨らしさ』何じゃないかなって、ちょ
っと思っ たの」

そうかなあ、と首をひねる私に、彼女は笑って見せた。

「分からなくてもいいの。」

考え方は人それぞれだから。

ただ、こんな考え方もあるんじゃないかなって、あなたに伝えられただけ。

だって、どうせ同じことをするんだったら前向きに考えた方が得だし、楽しいじゃない」と。

「雨がないとね、この地球に生きてるもの全てが死んでしまうよ。存在しなければいけないんだよ。雨は。だから、楽しんだ方が得かって、思ってる」

「人生も同じだよ。楽しんだ方が得じゃない。だから」

彼女は、天井を見上げた。

「だから、前向きに生きようよ」

彼女と、雨について語り合ったあの日から、何年か経ち、彼女との関係もそれつきりになってしまった。

しかし、今でも、どしゃぶりの雨を見ると思い出す。

『どうせ同じことをするんだったら前向きに考えた方が得だし、楽しいじゃない。』

だから、前向きに生きようよ』

という彼女の言葉を。

《完》

(後書き)

読んでくださった方、ありがとうございます。
サンプルにしようと、余計な描写や「!」「?」など、入れなかつたのですが、どうでしょうか。

よかったら、感想などお寄せ下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1037b/>

rain ~ 雨の日に ~

2011年1月14日04時08分発行